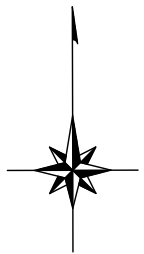
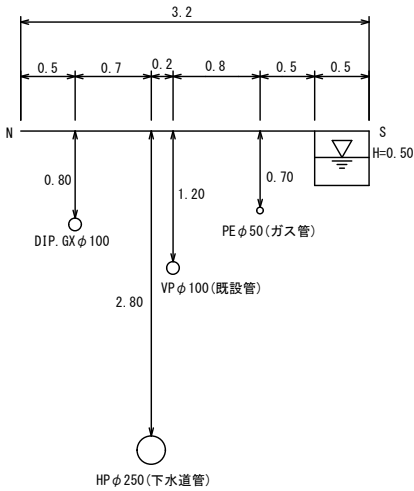
[illegible]



平面図① S=1:500

標準断面図 S=1 : 50

【路線1-2 No. 3付近】



給水管工事

PP φ 20	10箇所
PP φ 25	4箇所
SSP φ 40	1箇所
SSP φ 50	1箇所

区画線工

実線（黄：消火栓）W=15cm	L= 2.8m
ゼブラ（白：横断歩道）W=45cm	L= 3.0m

試掘内容

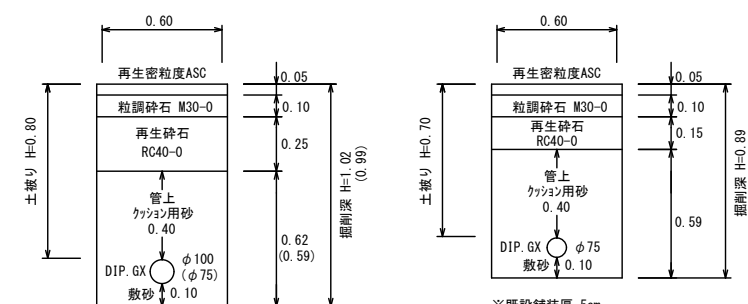
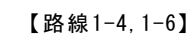
試掘①	W1.0×L3.0×H1.20	既設水道管、他企業管(ガス)の位置・土被・口径
試掘②	W1.0×L1.5×H1.20	既設水道管、他企業管(ガス)の位置・土被・口径
試掘③	W1.0×L1.0×H1.20	既設水道管、他企業管(ガス)の位置・土被・口径
試掘④	W1.0×L1.0×H1.10	既設水道管の位置・土被・口径
試掘⑤	W1.0×L1.0×H1.20	既設水道管の位置・土被・口径

※縮尺はA2で出力した場合

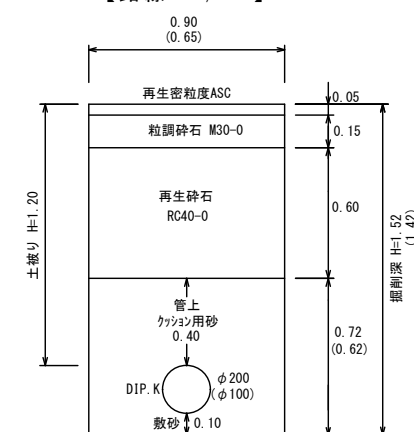
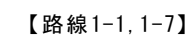
工事件名	(更新-4) 配水管布設替工事						
工事場所	甲府市屋形一・二・三丁目地内（市立相川小学校の南）						
図面名	平面図①・標準断面図	縮尺	図示	分割	2/6		
甲府市上下水道局	管理番号	R5-更新-4	マイクNo.				



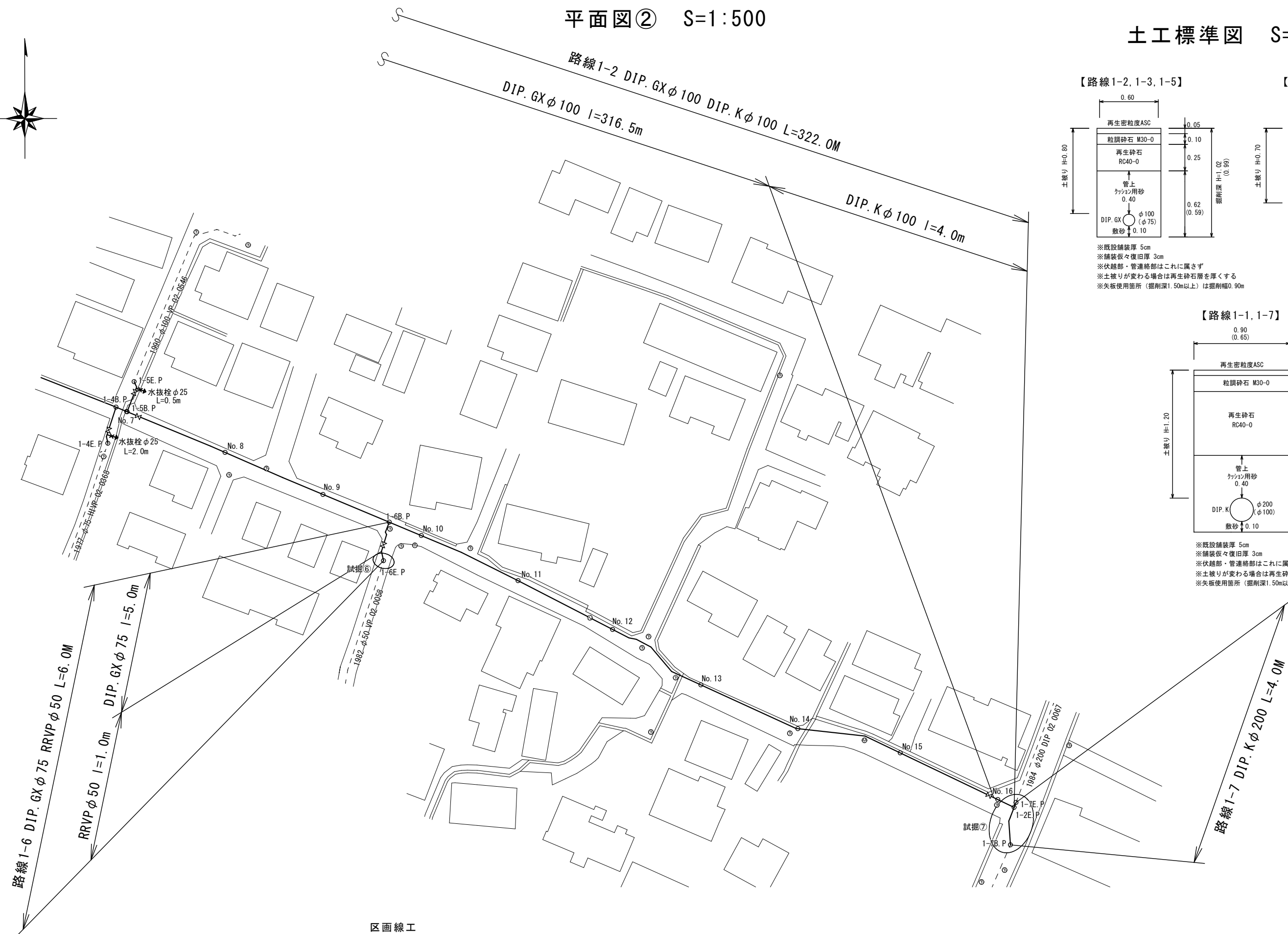
土工標準図 S=1 : 25



<p>敷砂 ↓ 0.10</p> <p>※既設舗装厚 5cm</p> <p>※舗装板々復旧厚 3cm</p> <p>※伏越部、管連絡部はこれに属さず</p> <p>※土被りが変わる場合は再生砕石層を厚くする</p> <p>※矢板使用箇所（掘削深 1.50m以上）は掘削幅 0.90m</p>	<p>※既設舗装厚 5cm</p> <p>※舗装板々復旧厚 3cm</p> <p>※伏越部、管連絡部はこれに属さず</p> <p>※土被りが変わる場合は再生砕石層を厚くする</p> <p>※矢板使用箇所（掘削深 1.50m以上）は掘削幅 0.90m</p>
---	--



※既設舗装厚 5cm
※舗装仮々復旧厚 3cm
※伏越部・管連絡部はこれに属さず
※土被りが変わる場合は再生砕石層を厚くする
※矢板使用箇所（掘削深1.50m以上）は掘削幅0.90m



工線區

実線（白：外側線）W=15cm	L= 0.9m
実線（黄：消火栓）W=15cm	L= 2.8m
ゼブラ（白：停止線）W=45cm	L= 0.6m
ゼブラ（白：横断歩道）W=45cm	L= 3.0m
文字（白：止まれ）W=15cm換算	L=18.34m

給水管工事

PP ϕ 20	22箇所
PP ϕ 25	5箇所
SSP ϕ 40	1箇所

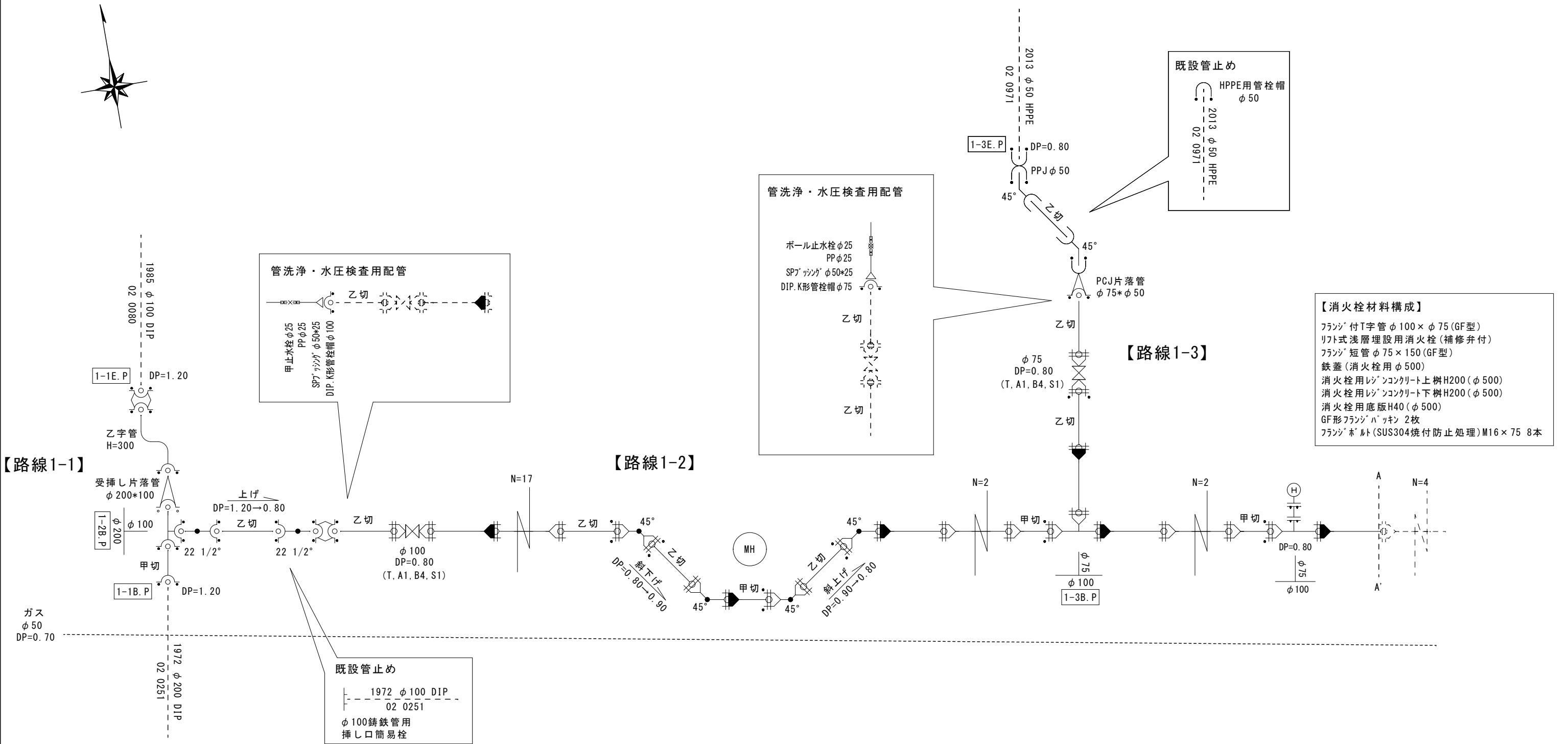
試掘内容

試掘⑥	W1.0×L1.0×H1.00	既設水道管の位置・土被・口径
試掘⑦	W1.0×L4.5×H1.30	既設水道管、他企業管(ガス・通信・下水)の位置・土被・口径

※縮尺はA2で出力した場合

工事件名	(更新-4) 配水管布設替工事										
工事場所	甲府市屋形一・二・三丁目地内 (市立相川小学校の南)										
図面名	平面図②・土工標準図			縮尺		図示		分割		3/6	
甲府市上下水道局	管理番号	R5-更新-4			マイクNo.						

配管詳細図① S=任意



ライナー使用箇所※1 P-Link使用箇所※2 G-Link使用箇所※3

GX形直管はすべてS種管とする。

S種管（切管用）切管有効寸法1.0m以上とする。

甲切 は有頭（受口有り）の切管を表す。

乙切 は無頭（受口無し）の切管を表す。

※1 一体化長さ

曲管部（45°以下）：1.0m T字管部：1.0m

仕切弁部・管端部：7.0m（φ100） 5.5m（φ75）

上記以内の直管受口にはライナーを使用すること。

※2 P-Link

直管受口に切管を接続する場合は、P-Linkを使用し接続すること。

※3 G-Link

異形管受口に切管を接続する場合は、G-Linkを使用し接続すること。

- ・K形特殊押輪は30kN仕様とする。
- ・掘削深がH=1.5mを超える場合には土留工（軽量鋼矢板）を施す。
- ・施工順序について、事前に監督員に確認して下さい。
- ・土被り等に変更があった場合には監督員の指示に従って下さい。
- ・現場状況により上記の配管と相違が生じる場合には、監督員との協議を行ってください。

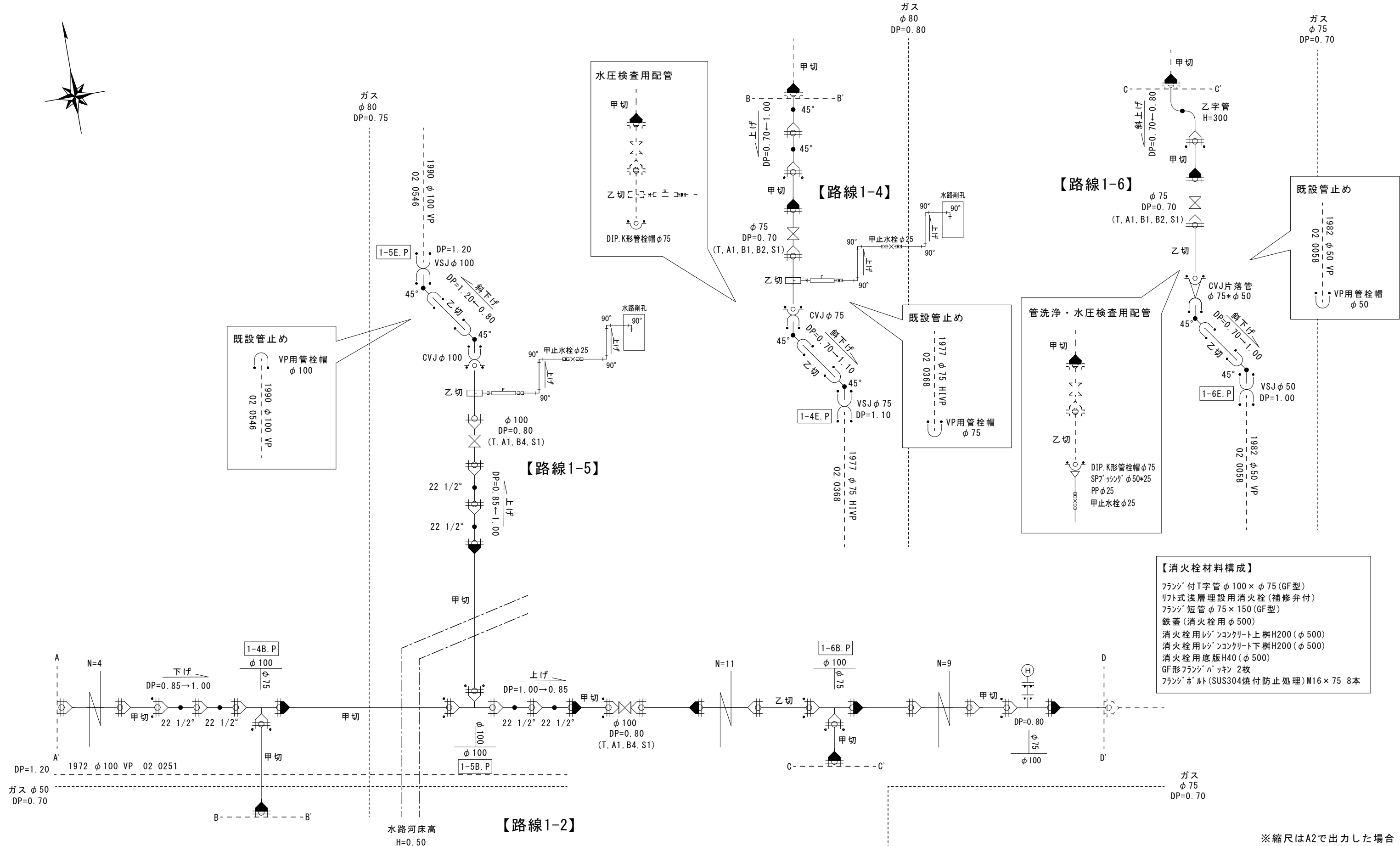
※4 インナーコア

メカニカル継手を使用する場合で、HPPE管にインナーコアの挿入が必要な場合は、各メーカーが指定するコアの挿入量・締付方法等に使い、適切に施工すること。

※縮尺はA2で出力した場合

工事件名	（更新-4）配水管布設替工事						
工事場所	甲府市屋形一・二・三丁目地内（市立相川小学校の南）						
図面名	配管詳細図①	縮尺	任意	分割	4/6		
甲府市上下水道局	管理番号	R5-更新-4	マイクNo.				

配管詳細図② S=任意

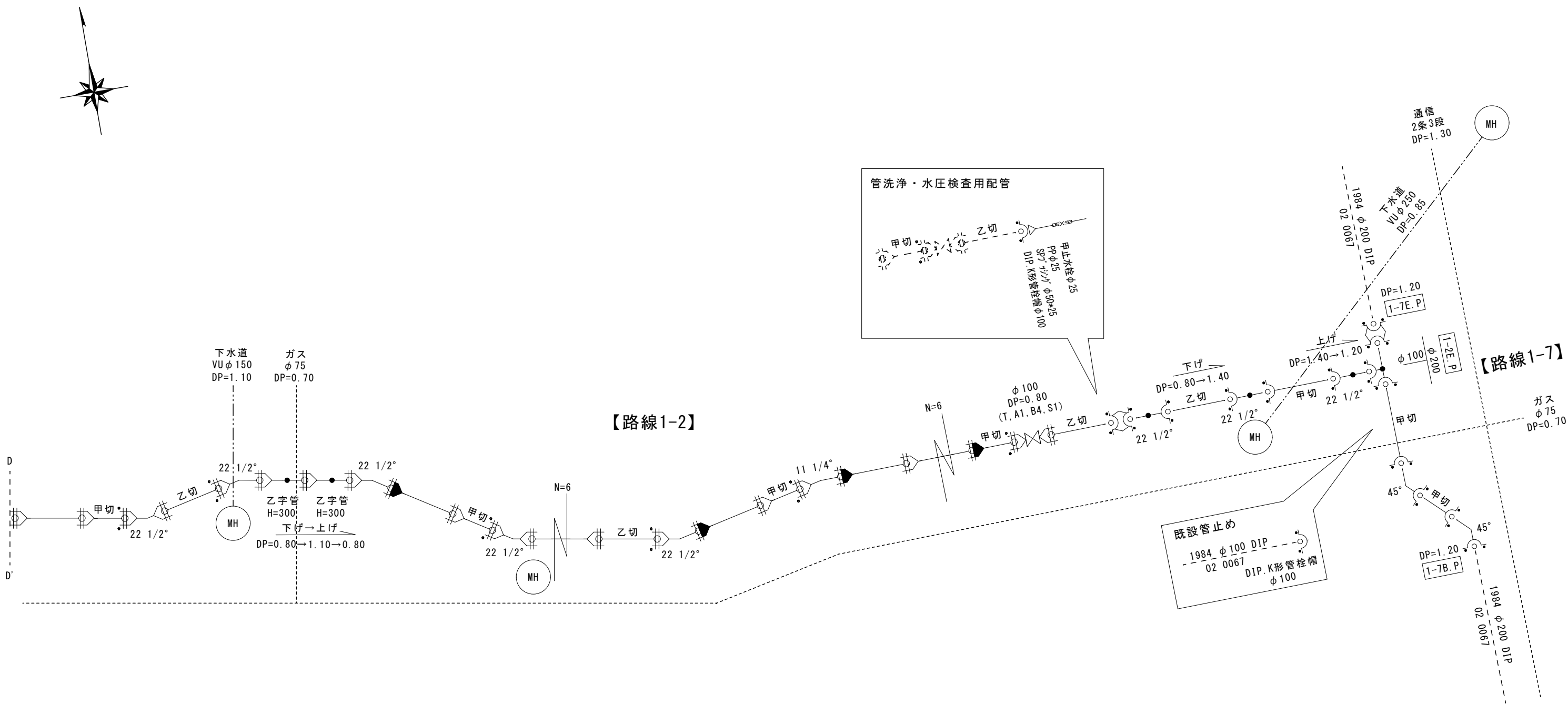


【消火栓材料構成】
フランジ付T字管 φ 100 × φ 75 (GF型)
リフト式浅層埋設用消火栓 (補修弁付)
フランジ短管 φ 75 × 150 (GF型)
鉄蓋 (消火栓用 φ 500)
消火栓用レシコンクリート上樹H200 (φ 500)
消火栓用レシコンクリート下樹H200 (φ 500)
消火栓用底版H40 (φ 500)
GF形フランジパッキン 2枚
フランジボルト (SUS304焼付防止処理) M16 × 75 8本

※縮尺はA2で出力した場合

工事件名	(更新-4) 配水管布設替工事						
工事場所	甲府市屋形一・二・三丁目地内 (市立相川小学校の南)						
図面名	配管詳細図②	縮尺	任意	分割	5/6		
甲府市上下水道局	管理番号	R5-更新-4	マイクNo.				

配管詳細図③ S=任意



※縮尺はA2で出力した場合

工事件名	(更新-4) 配水管布設替工事						
工事場所	甲府市屋形一・二・三丁目地内 (市立相川小学校の南)						
図面名	配管詳細図③	縮尺	任意	分割	6/6		
甲府市上下水道局	管理番号	R5-更新-4	マイクNo.				